

この街が好き。この人が好き。だから、成田が好き。

Narino

特別号

2019
company newsletter

おかげさまで50周年

50th
Anniversary
NRK



未来へ

この街がもつと 「好き」になりますように。

ナリコーが誕生して半世紀。

「地域社会への貢献と調和」をモットーに

さまざまな事業を展開してまいりました。

幾度となく壁にぶつかりながらも

それを乗り越えることができたのは「人の力」。

皆様のお力をいただき、社員が力を蓄えることで

ナリコーはここまで歩みをつないできました。

この50年の節目は私たちにとって

次の50年に向けてのスタートです。

私たちの強みである「真心」にさらに磨きをかけ

地域の皆様がこの街をもつと「好き」になる

お手伝いを続けてまいります。

50年の軌跡



成田興業株式会社

成田興業株式会社創立

机一つ無いわずか4坪の事務所に4名の社員というスタートでした。

1969 (昭和44)

1971



初代一般廃棄物焼却工場 完成

工場の完成に先立ち、焼却業務員の育成のため県内の塵芥焼却工場などへ社員を派遣しました。

1972

宅地建物取引業新規登録

1973

損害保険代理店業務開始

1970

建設業者新規登録 (土木工事業・建設工事業)

1978

一般廃棄物収集運搬業許可取得

1978



・新東京国際空港開港
・メンテナンス業務および塵芥処理業務開始

開港が何度も延期になり、経営的には本当に苦しい7年間でしたが、その間公害について徹底的に調べることができ、時代の先手を打って公害防止施設CDS(湿式集塵装置)を日本で初めて導入しました。

1983



コンピュータを導入

日本の企業でもまだ目新しかったコンピュータを、業界に先駆けて導入。最初に給与計算や原価管理などの財務関係からコンピュータ化し、業務の効率化を図りました。経理の人数は現在も当時とほとんど変わっていません。

※写真は2004年頃

1980 (昭和55)

1979



創立10周年記念祝賀会

成田ビューホテルで開催した式典には約300名を招待。一時は倒産もささやかれた当社が盛大にパーティを開くことができたことは、社員にとって感慨もひとしおでした。

1984



1月、新東京国際空港が大雪に見舞われる

新東京国際空港が十数年に一度という大雪に見舞われました。社員を総動員して滑走路などの除雪作業と除雪処理にあたり、その作業は4日間にも及びました。

1984



鳥正 千葉店オープン

それまでの焼き鳥店のイメージとは異なる、口の字型のカウンターでオープンキッチンスタイルという上品なイメージの店舗は、女性にも好評で、オープンと同時に連日行列ができるほどの人気を集めました。

▶オープン当初から人気のつくね



1984 初代社長 加瀬寅之助が永眠
加瀬佳正が社長に就任

1985



成田市に救急自動車を寄贈

会社創立15周年の記念事業として、成田市に救急自動車を寄贈しました。以降、地域に利益を還元するという考え方にに基づき、さまざまな機会に、地域施設への寄付を行っています。

1987



一級建築士事務所新規登録

1987



2代目一般廃棄物焼却工場 完成

1990



3代目一般廃棄物焼却工場 完成

1993

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可取得

1992

鳥正 成田店オープン

1992

・産業廃棄物収集運搬業許可取得
・2代目一般廃棄物焼却工場を産業廃棄物焼却工場に用途変更



リケンルーカス式焼却炉

- 1992 新東京国際空港 第2旅客ターミナルビル供用開始
- 1993 皇太子・雅子様ご成婚

- 1991 湾岸戦争勃発 パブル崩壊
- 1990 東西ドイツ統一
- 1989 昭和から平成に
- 1986 チェルノブイリ原発事故

- 1985 青函トンネル開通
- 1983 東京ディズニーランド開園

- 1981 初のスペースシャトル 米「コロムビア号」打ち上げ
- 1980 イラン・イラク戦争勃発

- 1978 新東京国際空港開港 日中平和友好条約

- 1977 巨人・王貞治選手 ホームラン世界記録
- 1972 沖縄本土復帰

- 1969 米アポロ11号が 月面着陸
- 1970 大阪万国博覧会

社会の
主な
出来事

おかげさまで、ナリコーは2019年で創業50周年を迎えます。「地域社会への貢献」を掲げ、私たちがこれまで辿ってきた50年間の歴史をご紹介します。

1996
株式会社ナリコーに
社名変更
NRK 株式会社 ナリコー

2000



大慈恩寺 新築工事完了
加瀬家の菩提寺でもある大慈恩寺(成田市吉岡)の新築工事を手掛けました。

2000

2代目産業廃棄物焼却工場 完成

2003



慈葬セレモニー寺台ホールオープン

慈葬セレモニーは当社の地域貢献の企業理念が形となりスタートしました。寺台ホールは全宗派から無宗派葬までご利用いただけ、より地域に密着した気配り・心配りのあるサービスの提供を行っています。

1994

生命保険
代理店業務開始

1995

鳥正 船橋店オープン

1997



本社社屋移転
社員の健康に配慮したオフィス環境を実現しました。

1997
葬祭業務開始(慈葬セレモニー)

2002



新空港事務所完成
空港メンテナンスを円滑に進めるための事務所が完成しました。

2002 ISO9001認証取得

2001

・ISO14001/ISO9002
認証取得
・住宅販売業務開始

2005

成田市へ2台目の
救急自動車を寄贈

2004

第1焼却工場2号炉へ
水冷火格子焼却システム
導入(日本初)

2006

・慈葬セレモニーを
ナリコーセレモニーと名称変更
・富里ホール、香取ホール完成



富里ホール



香取ホール

2008

創立40周年
感謝の集い開催

2010
(平成 22)

2009



ナリコークリーンセンター
管理棟完成

2011



4代目一般廃棄物焼却工場 完成
1時間に一般家庭約500軒分の発電を行っています。

2015



鳥正 スカイトウン成田に
オープン

成田駅前再開発による休業から、約3年ぶりにリニューアルオープンしました。

2015

ナリコーファーム菊栽培開始

2015



高性能超高压路面清掃車
ARC1500導入

滑走路のゴム除去作業の際に使用する、日本で初めて導入した路面清掃車。作業時間がこれまでの約3分の1に短縮されました。

2017



ベトナムより技能実習生を受け入れ

長年現地の小中学校などに寄付を重ね友好関係を築いてきたベトナムから、技能実習生を受け入れています。現在は7名が日々技能の習得に努めています。

2019
(平成 31)

創立
50周年

長いようで、あっという間の50年でした。これからも地域の皆様に愛されるよう精進いたします。
社員数375名(2018年11月現在)

2016



寺台ホールに
家族葬専用式場が完成

2014



会社報「NariHO」
創刊

「NariHO」は創立45周年を記念して発刊。当社の情報とともに、地域のより深い情報をお届けしようと、皆で知恵を出し合いました。普段顔を合わせない部署同士が集まることは、業務上でも大きなプラスになっています。

- 2016 北海道新幹線開業
- 2014 消費税8%に引き上げ
- 2011 東日本大震災発生
- 2018 成田国際空港開港40周年
- 2015 成田国際空港第3旅客ターミナルビル供用開始
- 2012 東京スカイツリー開業

- 2005 愛知万博「愛・地球博」開催
- 2004 公団民営化により成田国際空港へ名称変更
- 1997 東京湾アクアライン開通
- 2008 リーマン・ショック
- 2001 米国同時多発テロ発生
- 1994 関西国際空港開港
- 1995 阪神・淡路大震災地下鉄サリン事件

社会の
主な
出来事

熱田 さくらの山公園は、毎年初日の出や桜を見に大勢の人が来ているね。
常世田 あの公園の整備は、私が若い頃に手掛けたんですよ(笑)。今では成田の名所になっていてうれしいですね。
相馬 市民の方になじみ深いものでいえば、空の駅さくら館や久住中学校の校舎の建築も請け負いましたね。
熱田 公共から民間まで幅広くやっているけど、部の方針が大きく変わったのは10年くらい前かな。市だけでなく県の大規模工事を受注目標に据えて、どんどんやっています。
相馬 ちょうどその頃に設計積算部が立ち上がりました。案件に対してスピーディに積算を行いつつ、図面を元に3Dで完成図を作成して、お客様への説明に役立ててもらっています。
常世田 営業と積算、工事のチームワークの良さがうちの強みだね。それぞれが本音で話ができないと、予算などいろんな制約がある中で、スムーズに仕事が運ばない。
熱田 営業という立場では、お客様とのコミュニケーションが大事。お客様が相談したいときに、真つ先に自分の名前を思い浮かべてくれるような、「個人」として愛される存在にならないと。
常世田 工事は現場監督が中心だから、協力会社さんにも信頼されたいといけない。人と人のお付き合いがきちんとできる若い人を、どう育てていくかがこれからの課題だね。一人前に仕事ができるようになるには、少なくとも10



空港メンテナンス部(建築課)部長
眞山直樹

空港メンテナンス部(土木課)部長
大野恵二



経験。プラス機動力で 空港の安全を守る

眞山 冬と言えば、滑走路のメンテナンスが一番大変な季節ですね。
大野 除雪作業は時間との勝負。作業をしている間は空港は閉鎖されてしまいうから、いかにその時間を短くするかが重要です。作業が終わるまでは、皆トイレも食事も我慢しています(笑)。
眞山 空港の運用時間の延長で、さらに作業時間が短くなっていますね。
大野 そのために最新の機械をどんどん導入しています。特に4年前に導入したARC1500は、これまで何台もの車両と機械で行っていた路面清掃作業を1台でこなすことができる。日本で初めて導入した1台しかない機械なんですよ。
眞山 夜や土日でも緊急出動することがありますね。
大野 大雨による土砂崩れや航空機のオイル漏れなどで、曜日、昼夜関係なく緊急招集がかかります。それでも、一刻も早く施設を平常に戻すために当たり前と思っただけです。と、ところで建築課では、去年3月に保育園を竣工しましたね。
眞山 園児の昼寝時間は避けるとか、閉園後の夜8時から作業を開始するなど工夫しました。それでも工事は園児に

とってストレスなので、卒園児たちのために飛行機の模型を木で作って玄関に飾ってあげたんです。園児からとても感謝されて、思わずじーんときました。
大野 あの模型は園のシンボルのようになってるよね。3月には空港の天井パネルが落下したこともあったけど、その時の対応はどうでした？
眞山 あの時は3万ヶ所の点検口を30人でチェックしたんです。足が棒になるというのを初めて経験しました(笑)。それでも、若い人はどう行ったらスムーズに目的の場所に到着できるかちゃんと把握しているんですよ。
大野 若い人は3年くらいで広い空港内を全て覚えるからすごいよね。
眞山 特殊な場所でも、しかも限られた時間で作業しなければならぬから、彼らの成長は頼もしい限りです。
大野 私たちの仕事は人目に付かない仕事だけど、施設を普通に使えるようにすることが自分たちの使命だと皆思っています。これは開港当時から変わらないこの事業部のモットーですよ。
眞山 お客様からの感謝の言葉を何よりの励みに、今後も一丸となって取り組んでいきたいですね。

人と人との つながりを大切に 前進あるのみ!



▲左から熱田常務執行役員(第1営業部)、常世田専務取締役(第2事業部)、相馬部長(設計積算部)

年は必要。
熱田 労働時間が短くなっている中で。
相馬 積算部でも、それは大きな課題ですね。パソコンを扱えても、建築のことを知らないとなかなか提案はできません。仕事を覚える時間が短くなっている分、日々の業務をスピードアップして対応しています。
熱田 スピードは、お客様に非常に良いアピールポイントになっていますよ。
常世田 次の世代の人には、要所だけは面倒を見てあげて、あとは任せれば伸びていくと思う。その人が、また次の人を長い目で見たい。その繰り返しが、じやないかな。
熱田 後継者が前を向いて突進するよ。うな気持ちを持ってもらえれば、会社はもっと良くなると思います。
常世田 人手不足で競争も激しくなる中で、人としての魅力で仕事が始まるという流れを大切にしたいよね。
熱田 これからの営業は、現場を理解した技術者が携わるべきだと思います。そうすれば、余分な能力を使わずにさらにスピードアップできる。
相馬 積算部の案件は住宅から6000坪の倉庫まで幅広いですが、ドア1枚でもお客様が気軽に相談してくれるような存在になりたいですね。
常世田 第2事業部は常に新規で仕事を取っていく部署。不確定要素が大きい代わりに、会社の売り上げも左右する(笑)。競争は厳しくなるけど、皆で前を向いてやっていきましょう!

DATA
 成田市三里塚光ヶ丘1-1331
 TEL.0476-35-5328(第2事業部)
 0476-35-5325(第1営業部)

●主な業務
【第2事業部】
 土木・建築工事、メンテナンス工事
【第1営業部】
 土木・建築工事の受注業務
【設計積算部】
 設計積算業務



▲成田市立久住中学校

公共工事から
民間工事まで
幅広く施工
しています!



▶航空科学博物館内
B747型機展示施設



▲設計積算部では、建物の外観や室内を3D画像でご提案しており、リアルにイメージできるとご好評をいただいています

DATA
 山武郡芝山町香山新田字
 下横堀93-4
 TEL.0479-70-9901

●主な業務
 成田国際空港メンテナンス業務
 ・路面清掃 ・路面標識塗装
 ・草刈り ・滑走路ゴム除去
 ・除雪 ・空港施設修繕

最新設備が充実!

▲路面標識塗装機
ラインレーザー(乗車式)

▶草刈り、集草、梱包を
1台でこなす
トラクター

全長10.8m
全幅3.9m
高さ3.0m!

▲高性能超高压路面清掃車 ARC1500

全長11m
全幅2.5m
高さ3.6m!



▲左から江口社員、白石係長、内山社員、石塚次長、城間執行役員



▲左から塚本課長、谷田部社員、高根課長代理、小野寺社員

お客様第一主義で 地域への感謝を忘れずに

高根 ナリコーは50周年目に入りましたが、ナリコーセレモニーは地域の中でどんな存在だと思いますか？

江口 地域ではやはり一番認知度が高いと思います。

石塚 事業部の中でも一番お客様に発信している部署だから、お客様との距離は近いよね。香取地区ではナリコーは葬

儀屋だと思われています(笑)。

塚本 葬儀はお客様にとってはやり直しのきかない儀式だから、自分の家族を送る気持ちでお手伝いしたいと常に思っています。

谷田部 地域によって風習も全然違いますね。お線香はお寺さんが来るまであげちゃいけないとか、亡くなった人は南枕にするとか。

城間 地域のしきたりを社員がきちんと

理解していれば、お客様に先んじて提案ができる。そういう知識はノートを作っ

て、しっかり受け継いでいるね。

塚本 社外秘ですけどね(笑)。

谷田部 お客様のニーズもここ数年でずいぶん変わってきていますね。地域によっては簡素化が進んでいます。

高根 寺台に家族葬専用ホールを作りま

50周年は新たな ナリコーの始まり



第一焼却課 課長
越川光男



第二焼却課 課長
石井輝夫

石井 入社したのは結婚後のこと。それまでは空港内でグランドサービスの仕事をしていた。その頃から成田興業という会社は知っていたね。勢いのある会社だなという印象だったよ。

越川 私も結婚を機に入社しました。身内から「良い会社だから」と強く勧められて(笑)。だからナリコーの歴史は家族の歴史でもあるんですよ。

石井 お互い約30年勤めているわけだけど、成田興業の頃を知っている人も世代的に減ってきたね。

越川 あの頃は、加瀬栄一さんが現場を取り仕切っていて、大きな仕事を終えた後などはよく一席設けてくれたりしたのが懐かしい。きつい仕事でも、それがモチベーションになって頑張れた(笑)。

石井 「オヤジ」と呼んで慕っている社員も多くて、本人のいないところでは「栄坊」なんて呼んで。仕事には厳しくて怖い人だったけれど、とことん面倒見の良い器の大きな頼れる人だったね。

越川 旅行やスポーツ大会なんかもあって、会社全体が家族のような感じ。最近はそういうことはしない企業が多いようにだけど、ナリコーは古き良きスタイルを上手く引き継いでいると思う。

石井 若手とのコミュニケーションの取り方も、栄一さんを見て学んだ部分が大いような気がするな。時代が変わっても通じる「人間性」がとても印象的だった。今の自分の仕事にも、知らず知らずのうちに生かされているのかも。

越川 変わらないものがある一方で大きな変化もあったね。成田興業からナリコーへ社名が変わり、外部の見る目も変わった。そして廃棄物を扱う仕事の地位も変わったんじゃないかな。

石井 昔は若い女性に「ゴミ屋さん」と呼ばれてショックを受けたけれど(笑)。**越川** 時代と共に、廃棄物処理という仕事の重要性が社会的に認知されたのは、とてもうれしいことだよ。

石井 私は来年退職を迎えるけれど、その後もナリコーで仕事を予定。良い意味で退職後の在り方やスキルの生かし方を後進に示すことができた。だから50周年は新たな始まり。

越川 これからは若手の力も重要になってくる時代。人材の育成にも力を入れていかなければ。それが私たちが世代の役割ではないかと。

石井 ナリコーらしさをうまく次世代にバトンタッチしていきたいものだね。

※昭和63年常務取締役

DATA
【寺台ホール】成田市寺台77-1
TEL.0120-449-088
【富里ホール】富里市七栄646-26
TEL.0120-400-565
【香取ホール】香取市小見川1675-1
TEL.0120-317-565

●主な業務
葬祭に関する全般業務



▲毎回大好評のカルチャー教室

参加費は毎回
社会福祉協議会に
寄付しています



▶さくらメモリアルクラブ
会員様向けのイベント



▲2016年4月、寺台ホール隣にオープンした家族葬専用式場。親族控え室やご会食スペース、ベッドルームなど設備も充実

DATA
成田市十余三天神峯214-62
TEL.0476-32-0413 (一般廃棄物)
TEL.0476-33-1153 (産業廃棄物)

●主な業務

- ・一般廃棄物の収集運搬及び中間処理(焼却)業務
- ・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理(焼却)業務
- ・廃棄物のリサイクル業務



▲歩行者検知など最新の安全装置が付いた一般廃棄物収集車両(上)と産業廃棄物収集車両(下)



▲第3工場クレーン操作室とゴミピット



次長 菅井 辰夫

私たちは三井住友海上の代理店として、主に自動車保険と火災保険を取り扱っており、比較的若い5人の社員が活躍しています。お客様の都合に合わせての仕事なので、どうしても労働時間が長くなりやすく、社員の負担を軽減するため、この1年で1人増やしました。おかげで業務を力押し合えるようになり、職場環境は良くなっていると感じています。

「誠実」をモットーに 目標は常に高くあれ

海上の最高位の代理店格付けであるHGA(ハイ・グレード・エージェンシー)に認定され、それ以降、徐々に引き合いも増えてきました。この認定では販売力から知識、事務能力まであらゆる項目が点数化されており、毎年より高い数値目標が要求されます。これをクリアしながら信頼を見える化し、チャンスを広げていきたいですね。

私たちの仕事は対個人の仕事なので、いかにお客様と心を通わせられるかが重要です。プライベートと仕事の両立はもちろん大切ですが、事務的ではないかと思うんですね。インターネットによる保険の申し込みが広がっている中、対面でのコミュニケーションは当社の強みになっています。

若手社員には、若いうちは何事にも一生懸命取り組んでほしいと思います。その姿勢がお客様に一番伝わりやすいのです。頑張っていれば日常的にお客様から感謝されることが多い仕事ですので、やりがいを実感できます。

今は5人の少数精鋭ですが、今後はもっと人数を増やして会社を盛り上げていきたいですね。

チームワークで オンリーワンのお店に



右から、神田店長、飯島社員、高橋社員、鈴木社員

飯島 鳥正の歴史は長く、始まりは昭和59年にまで遡るんだよ。以来、成田駅の再開発で休業したりと紆余曲折あったけれど、30年以上も続けてこられたことには感慨深いものがあるね。

神田 おかげ様で多くのお客様に通っていただけていて、私や飯島さんに会いたくて来てくださる人もいるほど。ありがたいことだね。

飯島 いまの鳥正は若手にしっかりと

厨房を任せられるようになって、とても頼もしく感じているんだけど、当事者としてはどう?

鈴木 お客様は年齢層が高めなので、親子以上に年の離れた方を接客するときは緊張します。でも、日々勉強だと思つて精進しているところです。

高橋 これからはもっとメニューなどにも工夫をして、女性や若い人が入りやすいお店にしたいと思っています。

神田 若手は若い女性が来ると急に頑張るんだよね(笑)。というのは冗談だけど、皆が言いたいことを言えて、仕事に反映していける職場は良いなと思っています。

飯島 飲食業は職人の世界で、「先輩の背中を見て学べ」という風潮があるのは事実。でも、昔気質のやり方ではダメだと思ふんですよ。仕事には厳しく、しかし普段は年齢関係なく楽しく...というのが理想だね。

神田 そういう雰囲気がお客様にも伝わるので、大切にしたい部分です。よね。ところでナリコーは創立50周年を迎えるのだけど、どう感じる?

高橋 私が生まれる前から続いているのは、本当にすごいことだと思います。

一人二人のスタイルで 信頼関係を構築

川村 配属前は第3事業部第2業務課を10年ほど経験しました。それだけに営業の難しさは日々痛感しています。

高橋 私は第3事業部第1業務課・総務部経理課・第3事業部第2業務課と約16年事務を担当してきたので、この年齢で営業職につき、戸惑っています(笑)。林さんは?

林 入社以来、営業一筋6年目です。普段は、なるべくお客様と顔を合わせるように心掛けています。それに、医療廃棄物は少々特殊な分野でもあるので、勉強も欠かせません。

川村 お医者様と直接話す機会も多いですね。

高橋 事務方ではお客様に会うことはほとんどなかったのですが、今は直接話す難しさも感じますね。

川村 やり方に「正解」がないのが営業です。重要なのは、お客様が何を欲しているのかを察する力です。

林 それで難しいんです(笑)。厳しくてもいいので、ハッキリ言ってもらえた方がありがたいこともあります。

高橋 でも、お客様も本当は厳しいことは言いたくないはず。だからこそ、言わせる前に気付けることが大事。

川村 そして要望を聞いたらすぐに動くこと。それがお客様の安心感につながります。

川村 配属前は第3事業部第2業務課を10年ほど経験しました。それだけに営業の難しさは日々痛感しています。

高橋 私は第3事業部第1業務課・総務部経理課・第3事業部第2業務課と約16年事務を担当してきたので、この年齢で営業職につき、戸惑っています(笑)。林さんは?

林 入社以来、営業一筋6年目です。普段は、なるべくお客様と顔を合わせるように心掛けています。それに、医療廃棄物は少々特殊な分野でもあるので、勉強も欠かせません。

川村 お医者様と直接話す機会も多いですね。

高橋 事務方ではお客様に会うことはほとんどなかったのですが、今は直接話す難しさも感じますね。

川村 やり方に「正解」がないのが営業です。重要なのは、お客様が何を欲しているのかを察する力です。

林 それで難しいんです(笑)。厳しくてもいいので、ハッキリ言ってもらえた方がありがたいこともあります。

高橋 でも、お客様も本当は厳しいことは言いたくないはず。だからこそ、言わせる前に気付けることが大事。

川村 そして要望を聞いたらすぐに動くこと。それがお客様の安心感につながります。



左から林社員、川村課長代理、高橋次長

先輩方が作り上げてきたものを壊さないように頑張りたいです。

鈴木 鳥正もこれから10年、20年と続く店でありたいと思います。そのために努力していくのは、私たちの世代です。

神田 去年は、お客様のご要望を受けて店内を大きく改装したり、喫煙ルームを設けたりと、大きな動きがあったね。

飯島 時代のニーズに合わせて、鳥正もどんどん変わらなないといけない。

神田 ハードだけじゃなく、若い人にはこれから接客の方も積極的に頑張ってもらいたいところ。でもこれは経験を積んでいくしかないかな。

高橋・鈴木 頑張ります。

飯島 一度いらつしやつたお客様が「また来たい」と思ってくれたらどうかは、料理の質はもちろん、お店の雰囲気や接客の仕方に大きく関わっているからね。

神田 長くお店を続けていけるかどうかは、そうした目に見えない部分がとても重要。

飯島 ナリコーが50周年を迎えられたのも、多くの方の支えがあったからこそ。この節目を契機に、気持ちを新たにしていきたいと思います。そのために、チームワークを大切に、みんなでお店を盛り上げていきたいですね。

高橋・鈴木 はい!これからもご指導よろしくお願いします!(笑)

DATA
成田市花崎町828-11
スカイタウン成田 地下1階
TEL.0476-36-7000
営業 17:00~22:00 (LO21:30)
※金曜日のみ23:00まで
休業 日・祝・盆・年末年始

●主な業務
飲食業



▲お客様のご要望を受けて、昨年7月にテーブル席を個室に改装。個室の間の仕切りを上げ下げすることで、完全個室や小宴会など、幅広い用途にご利用いただけます



▲錦炙りのコース

会社の「顔」として 一歩一歩着実に成長を

坂本 入社して半年近くが過ぎたけれど、仕事には慣れましたか？
室井 最近、空港内の制限区域に入るための許可証の申請や車両の登録手続きなどを任せていただけたようになって、やりがいを感じています。
今津 伝票処理や売上のまとめなどの経理を担当するようになりました。簿記2級の資格を持っていてのですが、その知識をなかなか実務に反映できないところに苦労しています。
坂本 二人が入ってきてくれたおかげで、一人ひとりの負担が減って助かっています。会社の雰囲気はどうですか？
室井 大学生の時は、社会人はもっと周りが厳しく言われると思っていました。想像していたのとは違って、優しい雰囲気を感じます。
今津 大学の同級生と比べると、きちんと定時で帰れるし、働きやすいと思います。資格取得を目指して勉強しているのですが、会社が支援金を出して応援してくれるのがありがたいです。
坂本 総務はナリコーの顔なので、とりえず全部の電話がかかってきます。室井さんは特に大変でしょうね。
室井 かかってきた電話がどの部署に関係しているのかを覚えるのは大

変でした(笑)。分からないなりに、一生懸命聞いて伝えていきます。
坂本 最近自宅に電話がなくて、電話を取ったことがないという子も多いけれど、二人とも電話にある程度慣れてきたから、最初からよく対応できていましたよ。今後の目標は？
今津 建設業経理士1級の資格取得を目指しています。今は教えてもらうことばかりですが、知識を得て、2、3年後にそれを活かしたいと思います。
室井 電話での先輩方の敬語の使い方などはとても勉強になります。一年後にはもう少し成長していきたいです。
坂本 総務は裏方ですが、総務がないと会社は回らないと思います。総務から発信して皆がスムーズに仕事ができるように頑張っていきたいと思います。
室井・今津 戦力になれるように頑張ります！



左から坂本係長、今津社員、室井社員

50周年に寄せて ナリコー座談会

ナリコーが50周年を迎えるのに合わせて、「ナリコー」も創刊6年目を迎えました。これまでの反省と今後の抱負について、加瀬敏雄編集長を中心に編集委員でさっくばらんに語り合いました。

加瀬 今回、50周年の記念号を作ることになりましたが、ナリコーも早6年目。振り返ってみていかがでしょうか。
委員 最初はネタが続くのか心配でしたが、新しい内容が次々と加わってこまめで続いているのはすごいと思います。
委員 葬儀部門は元々お客様と距離が近いのですが、アンケートでお客様の名前を見つけると、意思疎通ができています。アンケートでは、「ナリコーがこんな事業をやっていると初めて知った」とか「こんな情報を載せてほしい」とか、好意的な意見が多くてありがたいですね。
委員 北総地域のお客様からナリコーが来たよとおっしゃっていただけで、手応えを感じています。
委員 社員が他の部署の業務を詳しく知ることができるのもいいですね。



加瀬敏雄編集長

加瀬 新入社員にもナリコーを見せていますか？
委員 採用活動で配っています。事業部が多いので、業務の特集ページをコピーして参加者に渡しています。コンパクトにまとまっているので使いやすいです。



今後、社員のふるさと紹介やクロスワードを企画しても面白いと思います。

加瀬 50周年を契機に、ナリコーは今後どう変わってほしいと思いますか？
委員 アンケートでは、特集で香取地域を取り上げてほしいという意見も多いですね。取材地域を広げたり、豆知識を充実させたりするのいいと思います。
委員 10号で初めて、10歳のお子さんから「子どもでも分かる情報を載せてほしい」というアンケートをいただきました。若い人の声にも応えられる誌面づくりがあってもいいのでは。

委員 空港の施設管理や土木建築、クリーンセンターは内容が一般的ではないので、何を載せていくかが難しい。
委員 でも、ナリコーを見てこういう仕事があるんだと知って、ナリコーに入りたいと言ってくれる高校生もいるんです。

委員 ナリコーは商社じゃないかという声までいただいています。これは皆さんの力です！ ナリコーをきっかけに、会社の進むべき道を探っていけたらと思います。これからも、ナリコーの制作に、そして会社の運営に携わってください。

加瀬 皆さん、11号まで制作に携わってくれてありがとう。ナリコーは創立50周年を迎えました。社員数名からスタートして、こんな社報を作ることができるとは正直思っていませんでした。たくさんの方にナリコーの仕事を知っていただくことができ、ナリコーは商社じゃないかという声までいただいています。これは皆さんの力です！ ナリコーをきっかけに、会社の進むべき道を探っていけたらと思います。これからも、ナリコーの制作に、そして会社の運営に携わってください。

社会貢献活動

関西国際空港の被災支援で、感謝状をいただきました！

昨年9月8日、成田国際空港から依頼を受け、台風21号の影響で一部が浸水した関西国際空港の復旧を支援するため、路面清掃車2台と社員4人を派遣しました。約600kmを自走して現地に向かい、2日間作業に当たりました。海水で流されて滑走路で固まった土砂を除去するという過去にない経験に苦労しましたが、一日も早く復旧できるよう全力を尽くしました。



昨年の9月12日にナリコー本社で行われた感謝状贈呈式

9月12日に関西国際空港より感謝状をいただき、復旧に貢献できたことを社員一同誇りに思うと同時に、改めて日々の業務の重要性を再認識しました。

当社では、救急車やAEDの寄付、社会福祉協議会への寄付、美化運動などの社会貢献活動を行っています。地域社会の一員として、皆様の生活環境の改善、向上に役立つことができれば幸いです。



香取市小見川認定こども園に寄付した遊具

成田市に寄付した訓練用AED

今まで自分から会社をアピールすることがなかったのに、ナリコーは会社のPR活動に役立っています。



「ナリコー」を道しるべに、未来に向かって一致団結！

「困難期を力に変えた 不屈の創業者」

初代社長 加瀬寅之助

成田に国際空港ができる…

明治38年に加瀬家の次男として生まれた寅之助は、18歳の時に志願して軍隊に入り、職業軍人としての道を歩んでいました。将校となり、上海のウンスン飛行場の部隊長、平塚の航空隊の部隊長などを歴任し、新しい空港の建設などに従事しましたが、昭和20年、第二次世界大戦が終結し、ソ連での抑留も経験しています。昭和23年に復員後は第百生命に勤務。千葉、錦糸町などで支社長を務め、昭和40年に60歳で定年を迎えました。



職業軍人時代の
加瀬寅之助

折しも昭和38年には富里への新国際空港建設問題が浮上。昭和41年には三里塚に空港建設が決定するなど、地元成田には大きな動きがあり、周辺は慌ただしく情勢が変化。反対運動などが巻き起こり、機動隊が出動する騒ぎなども起きている状況でした。

空港建設予定地内に農地を有していた加瀬家でしたが、当初は静観。しかし

寅之助は、かつて上海飛行場や平塚飛行場の建設時、苦勞して飛行場を作ったことを思い出し、国策に協力する意向を決めました。そして条件派第一号として成田国際空港対策部落協議会の発足に参加。住民の間に条件闘争の気運が生まれたのです。

ナリコーの礎、業種決定の決断

条件派として転業を模索する寅之助は「用地提供者には優先的に空港内の営業を考慮する」という覚書を鑑み、用地提供した農家の人々の働く場を空港内に確保しようと、会社設立を考えました。候補となった業種は、レストラン経営や公衆電話設置、ヘルボーイなどさまざま。その中で最終的に選ばれたのが、現在のナリコーの主要業務である滑走路メンテナンスとごみ焼却でした。

上海や平塚の空港で部隊長を務めた経験を持つ寅之助には、滑走路メンテナンスが空港運営上必要不可欠な業務であることが分かっていたのでしょう。また、成田市から「空港内から排出されるごみはすべて空港公園側で処理するように」



昭和46(1971)年に完成した初代の焼却工場

という指示が出ていることを知った寅之助は、これも引き受けています。今のナリコーの前身、成田興業の誕生でした。



加瀬寅之助社長(右)と
加瀬佳正副社長(左)
※昭和54(1979)年当時

開港延期の苦難を乗り越え

開港に向けてごみ焼却施設などの建設を開始し、順風満帆に見えた成田興業の船出。しかし当初昭和46年とされていた開港予定が何度も先延ばしになり、焼却工場は完成しても稼働に至らないという現実が待っていました。昭和46年には社長である寅之助が心臓病のために入院するなど、会社としての危機にも直面。経営的にも窮地に陥り、新聞に倒産の噂が掲載されるほどになっていました。

しかし、そのようなときでも給料の遅配は一度もなく、社員の間にも動揺はなかったと伝えられています。社員増を図り、あくまで開港時を目指して社員教育を行っていました。

またこの時期、開港まで持ちこたえるためにさまざまな業務を手掛けています。土木工事を請け負ったり、損害保険業務を開始したりと試行錯誤が続きましたが、こうして今のナリコーにつながる多様な業務が確立されてきたのです。

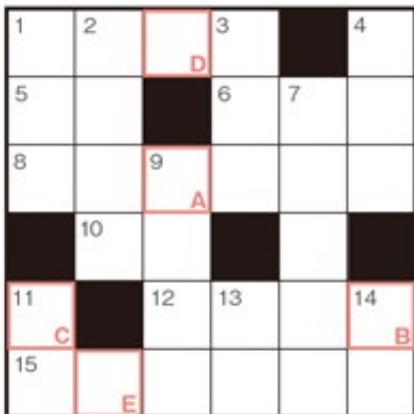
長い苦悩の時期を乗り越え、空港が開港したのは昭和53年のこと。ついに本格的に業務がスタートし、成田興業の夜明けの年となりました。寅之助が永眠したのはその6年後、創業15周年を迎えた昭和59年のことでした。

クロスワード★パズル

A~Eの枠の文字を順に並べて
できる言葉は?

※ヒント=ナリコーに関連した言葉です。

- 1 五・七・五と言えよ。
- 2 足の指の先。
- 3 千葉市美浜区にある野球場は○○○スタジアム。
- 4 ナリコーセレモニーホールは、富里・寺台と…。
- 5 凍らせた果物や野菜をミキサーにかけた飲み物。
- 6 ピアノの魔術師と呼ばれた作曲家。
- 7 劇を観るのは観劇、ではスポーツを観るのは?
- 8 大晦日に食べる麺。
- 9 地球上で東西を示すのは経度、南北を示すのは?
- 10 オリピックで1位の人が貰うのは○○メダル。
- 11 2月の最初の午の日。稲荷神社の祭礼が行われる。
- 12 まじめで真心がこもっていること。
- 13 千年生きると言われる縁起の良い鳥。
- 14 ヨーロッパサッカーで年間最優秀選手に贈られる賞。



50周年記念プレゼント!!

正解者の中から抽選で鳥正ベアお食事券を50組、QUOカード(1,000円分)を50名様にプレゼントします。

【応募方法】

ハガキまたはFAXで、〒・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ご意見・ご感想をご記入の上、下記までご応募ください。

【応募締切】2月15日(金)必着

【応募宛先】 郵送 〒286-0117
千葉県成田市三里塚光ヶ丘1-1331
FAX 0476-36-4052
株式会社ナリコー「NariHO編集部」係

編集後記

読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。どうぞ今年も小誌「NariHO」のご愛読をよろしくお願ひ申し上げます。ご案内のとおり弊社は創立50周年を迎えることができました。今回の発行は特別号として、弊社の50年間の歩みを中心に構成させていただきました。弊社の歩んできた道のりの一つにでもご関心をお寄せいただければ幸いです。また、50周年の記念事業として、地域貢献を前提としたさまざまな行事を展開していく予定でありますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。